

# 道見やすのり

Do-Mi通信 Vol.6

議会特集号



## コロナウイルスに負けないために!!

免疫を高める!

新型コロナウイルスに負けないためには、免疫力を向上させることが大切です

### ●バランスの取れた食事



特別な食事よりも栄養バランスが取れた食事が大切です。

### ●適度な運動



体力を付ける為無理のない運動を!

### ●ウィルスは自ら防ぐ!



常に清潔に保ちウィルスの侵入を防ぐことが大切です。

### ●うがい・手洗い・消毒



特に人と会話する時はマスクは大切です。

### ●マスク着用



自分のため、みんなのため、そして大切な人のために。

### ●ソーシャルディスタンス



集団感染を防止する為に密集・密接・密閉を避けましょう。

### 道見やすのり プロフィール



昭和41年（1966年）札幌市生まれ  
北海道札幌新川高等学校卒業  
日本大学法学校政治経済学科卒業後、民間企業・会社経営を経て  
中央ビルメンテナンス（株）勤務（平成26年6月退社）  
平成10年 札幌市東区より札幌市北区太平へ転入  
党歴 平成21年3月 自由民主党札幌市北区第4選挙支部入党  
平成25年11月 自由民主党北海道支部「HOKKAIDO」政治塾卒業  
平成27年4月 北海道議会議員に初当選  
平成31年4月 北海道議会議員2期目当選

#### （主な公職）

- （社）札幌青年会議所副理事長
- （社）札幌青年会議所こころの絆推進実践会議議長
- 札幌北警察署少年補導員
- 札幌北倫理法人会 顧問

（好きな言葉）  
・悠々として急げ  
（家族）  
・妻、子供3人  
（趣味）  
・釣り、読書



【答弁】

まず、多様な地産地消の展開について伺います。工エネルギーの多様性や循環型社会システムの構築を活かすためには、その地域でのマイクログリッド技術を確立することが必要です。それは、域内経済の自立と強化に直結します。また、道内に限らず系統接続の脆弱性によって、不自由を極めている事業環境を改善していく為には、系統インフラの整備も欠かせませんが、マイクログリッドの実現により得る地産地消の工エネルギー環境を整えることの方が、自然災害等による非常時電源確保の実体に即したものとなり得るのです。広範な送配電線網によるデメリットを目の前に突き付けられたのが、2018年北海道胆振東部地震によるブラックアウトの経験だったのではないでしょうか。道には、農業・観光業に続くエネルギー産業を北海道に適していることに議論の余地はありません。道では、本道の特性を活かすが求められています。

マイクログリッドについてであります。道は、次期「省エネルギー・新エネルギー促進行動計画」において、さまざまに新エネルギー等を活用し、地域単位でエネルギーの需給を管理し、活用する、需給一体型の分散型エネルギーシステ



【質問】

### 多様な地産地消の展開について

この行動計画では、日指す姿の実現へ向けた「3つの挑戦」を明らかにしています。それらについて課題を明らかにし、達成へ必要な行政の取組みを加えて頂けるように要請させて頂きます。



どうみ

# 道見やすのり

## 「北の元気玉」 が北海道を強くする!

# 道見やすのり「112回556項目」の議会質問回数

省エネ促進・新エネの開発の導入と一体となった環境関連産業の振興について

【質問】

次に、省エネ促進・新エネの開発の導入と一緒にした環境関連産業の振興について伺います。

言うまでもなく、広大な北海道においては、その地域や根付いていた産業の特性を活かした展開を欠かすことは出来ません。更に、民間事業者のみならず、自治体や地域住民の理解と協力は、定着と継続が必要なこの取組みには不可欠なのであります。

道は、広大な北海道であるからこそ、積極的に世界の新技術の取り込みに挑戦し易い環境を整備して、民間事業者を支援していく必要があります。

環境関連産業の振興を実現させなければならぬのであるならば、道として、民間事業者と協力しながら、新旧技術のデータベース化とその経過と結果、地域の「一」の把握を行い、「マッチング」と事業推進支援を行わなければならないと確信しています。



勝手が悪く、技術の進歩に追い付くことが出来ない状況となってしまっています。道には、このような場を提供する必要があると考えていますが、農業・観光業に続くエネルギー産業を北海道の主力産業とするために、「この度の策定等において、更に」ここにも発想の転換が求められます。今後の市場の拡大が期待される産業であり、省エネや新エネルギーの開発・導入と、国内外からの投資や道内企業の参入などによる環境関連産業の振興を「本格的に」推進し、地域経済の好循環につなげていくことが重要と認識。

【答弁】

環境関連産業の振興についてですが、環境関連産業は、従来の省エネルギー、新エネルギー設備に加え、地域マイクログリッドの構築に資するデジタル制御技術といった先端技術の開発などにより、今後の市場の拡大が期待される産業であるため、道としては、省エネや新エネルギーに関する企業の投資や立地を促すほか、道総研などとも連携し、新たに企業や自治体が抱える新エネ導入に関する課題や要望に対応するワンストップ窓口を設置し、道内各地における新エネを利用した取組の状況に加え、技術相談や支援制度などに関する情報提供を行い、事業化につなげていくとともに、環境関連事業に取り組む企業に対し、構想段階から技術開発、販路拡大まで総合的に支援するなどして、企業の皆様の声に耳を傾けながら、環境関連産業の振興に取り組んでまいります。

【質問】

次に、自指す姿の実現によるエネルギーの主力産業化について伺います。

このマイクログリッドの技術の導入は、系統接続の脆弱性によって不自由を極めている北海道にとって、民間事業者を支援していく必要があります。

道は、F-1による売電は、設備資金の償却に大きく貢献する制度となっていますが、その地域で長期間にわたって売電できるマイクログリッドであれば、道内で販売される電気料金並みの価格を実現することができます。

更に、F-1による売電は、設備資金の償却に大きく貢献する制度となっていますが、その地域で長期間にわたって売電できるマイクログリッドであれば、道内で販売される電気料金並みの価格を実現することができます。



現在、系統接続が出来ない道内のほとんどの地域では、結果として新エネルギーを発熱として利用することしか出来ない有様です。それは、あまりに非効率です。これら北海道の系統接続の充実を待たずして推進できる技術が、「マイクログリッド」ということだと確信しています。道「そこが、率先してマイクログリッド技術の確立に舵を切るべきです。それらを確立させたうえで、エネルギーの主力産業化を実現させるべきと考えます。

道には、農業・観光業に続くエネルギー産業を北海道の主力産業とするために、「この度の策定等において、またもや、ここにも発想の転換が求められています。知事の見解を伺います。

【答弁】

新エネルギーの活用に向けた技術開発等についてであります。マイクログリッドを含むシステムの構築に向けた地域特性に応じた新エネを活用した発電や、それに伴う熱エネルギーの有効利用はもとより、デジタル技術を活用して電力の需要と供給を双方で調整するといつ新たな技術の開発や、太陽光発電や蓄電池など、新たな技術を次々に投じていかな

目指す姿の実現によるエネルギーの主力産業について

、

どの分散型エネルギー資源の家庭や事業所への導入促進が必要。

このため、道総研では、木質バイオマスや温泉熱など未利用資源を活用したエネルギーの地産地消に関する技術開発や利用モデルの構築などを取り組んでいるほか、道としても、環境関連産業への参入を希望する企業の技術開発を支援するとともに、来年度新たに、家庭や事業所に向けて、民間事業所に向け、分散型エネルギー資源の導入メリットを調査・PRすることとしており、地域特性に応じた需給一体型エネルギーシステムの構築と展開を促進している。

最後に、国内の地域新電力の取組みについて伺います。

マイクログリッド技術による国内における地域新電力の取組みについては、地方自治体が主体となつた地域PPS(特定規模電気事業者)が現在30ヶ所程度も立ち上がり、北海道の一部を地域に流出している富の一部を地域内に留めるためのダム機能となるべく設立され、得られる利益相当分は、地域振興は基より、人口減少対策など公益的な事業に還元していくことが可能です。官ど民の中間のポジションを取りながら、その時に合った地域課題に柔軟且つ民間ならではのスピード感をもつた取組みを推進させていくことが出来るとしています。

これらは既に導入されている技術であり、自然エネルギー源の宝庫であることを謳ってきた私たち北海道にとっては、これまで実現できていないことが滑稽にさえ映る有り様だと考えています。

この地域PPSは、新エネルギーの導入を加速化させるばかりか、電気料金等として地域外に流出している富の一部を地域内に留めるためのダム機能となるべく設立され、得られる利益相当分は、地域振興は基より、人口減少対策など公益的な事業に還元していくことが可能です。官ど民の中間のポジションを取りながら、その時に合った地域課題に柔軟且つ民間ならではのスピード感をもつた取組みを推進させていくことが出来るとしています。

これは既に導入されている技術であり、自然エネルギー源の宝庫であることを謳ってきた私たち北海道にとっては、これまで実現できていないことが滑稽にさえ映る有り様だと考えています。

【答弁】

私は、エネルギー政策による北海道の活力の創出を実現させなければならないのです。

知事の決断を求めます。見解を伺います。

このうち稚内市や上士幌町では、地域新電力

地産地消の先駆的なモデルとなる取組を支援するほか、取組から得られるノハウのコーディネーター派遣による普及などを通じて、他の地域での課題

解決につなげるとともに、来年度新たに、関係部局が連携しながら、地域が主体となって取り組む新エネ導入の掘り起こしを行うなどして、エネルギーの地産地消の取組を全道に広げ、地域経済の好循環を実現します。

道としては、引き続き、こうしたエネルギーの活用についてあります。が、道では、新エネ導入加速化基金などを活用し、市町村が実施するエネルギー地産地消の先駆的なモデルとなる取組への支援に取り組んでいるところ。

このうち稚内市や上士幌町では、地域新電力会社を設立し、地域資源を活用した電力を地域内に供給することで、雇用創出などを図る取組が進められている。

このうち稚内市や上士幌町では、地域新電力

地産地消の先駆的なモデルとなる取組を支援するほか、取組から得られるノハウのコーディネーター派遣による普及などを通じて、他の地域での課題

解決につなげるとともに、来年度新たに、関係部局が連携しながら、地域が主体となって取り組む新エネ導入の掘り起こしを行うなどして、エネルギーの地産地消の取組を全道に広げ、地域経済の好循環を実現します。

新議場の見学希望は当事務所まで

元気玉がご覧いたしました!



てまいり

が行政の役割なので、それこそが何であるのか、何を求めるのであるのか、それが何であるのか、何を求めるのであるのか、

は、どうしてもパラダイムシフトを変えていく必要がある

と考

え

ています。

は、どうしてもパラダイムシフトを変えていく必要がある